

提供日 2022/11/14 14:00

タイトル 科学雑誌『RHEUMATOLOGY (OXFORD)』オンライン版に
寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されます。

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

科学雑誌『RHEUMATOLOGY (OXFORD)』オンライン版に
寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されます。

1 要旨

静岡県立総合病院の寺尾免疫研究部長（理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー、静岡県立大学特任教授）らの研究論文が科学雑誌『RHEUMATOLOGY (OXFORD)』オンライン版（11月15日9時付：日本時間11月15日18時）に掲載されます。

報道解禁日：令和4年11月15日18:00・16日付朝刊

2 研究タイトル

Genetic architecture underlying IgG-RF production is distinct from that of IgM-RF

（関節リウマチにおけるリウマチ因子(IgG-RF)の有無が特定の遺伝子パターンと関連する）

3 研究概要

・理化学研究所（理研）センターゲノム解析応用研究チームの寺尾知可史チームリーダー（静岡県立総合病院免疫研究部長、静岡県立大学特任教授）、らの共同研究グループは、関節リウマチに関連する患者から提供された血液検体中の細胞由来のDNAを解析した結果、関節リウマチ患者の血中に見られる自己抗体[1]の一つであるIgG型リウマチ因子（IgG-RF）[2]の有無が、HLA-DRB1遺伝子[3]上のシェアドエピトープ（SE）[4]のアレル[5]の特定のパターンと関連することを発見しました。

・本研究成果は、自己免疫疾患[1]の代表である関節リウマチの患者の病状の進行予測や、患者ごとの病型に応じた治療戦略の開発に向けた研究に貢献すると期待できます。

※補足説明は添付資料を参照

4 その他

理化学研究所、京都大学、静岡県公立大学法人静岡県立大学から共同リリースしております。詳細は添付資料ご参照ください。

（問合せ先） 静岡県立総合病院 総務課

静岡県葵区北安東4-27-1

電話：054-247-6111 (代)